

地区：山元町

震災遺構・伝承施設

対象：

教育
旅行団体
旅行個人
旅行

ジャンル：施設見学

やまもと

なかはま

山元町震災遺構 中浜小学校

学びのポイント

- ・中浜小学校の震災時の対応を通じて、災害時には立地や状況に応じた適切な避難判断が重要であることを学ぶことができます。また、日頃から防災意識をもち、必要な備えをしておくことの大切さを理解できます。
- ・震災前の中浜小学校や地域の街並みを再現した模型、小学校の思い出を紹介する展示から、津波により変わってしまった町の様子を知ることができ、自分の暮らしに重ねて考えることで、災害を“自分ごと”として捉える視点が養われます。
- ・“答えを示すのではなく、問いを投げかける”ことを展示の基本姿勢としている震災遺構です。来館者が情報を受け取るだけでなく、現場に立ち、当時の状況を自ら想像し、何が起きたのか、なぜそうした判断がなされたのか、もし自分がその場にいたらどのような行動をするか、との問いに向き合えるようになることを重視しています。

1. 内容

説明

宮城県沿岸部の小学校で最も南に位置していた中浜小学校では、東日本大震災発生時、校舎屋上への「垂直避難」が判断され、当時学校にいた児童・教職員・保護者あわせて90名全員の命が守られました。海岸から約400メートルという至近距離にあった同校では、1989年の校舎改築時に、津波や高潮への備えのため、敷地全体を約2メートルかさ上げしていたこと、教職員が事前に避難マニュアルを再確認していたことに加え、津波の到達予測と避難に要する時間を踏まえた迅速な判断が、多くの命を救う結果となりました。

震災の教訓を風化させることなく、災害への意識と備えの重要性、そして的確な判断の大切さを学ぶ場となるよう、校舎は震災当時の状態を可能な限り保存し、宮城県南部で唯一の震災遺構として一般公開されています。

[2020年9月26日から一般公開開始]



震災当時、屋上への避難を決断した校長先生をはじめとする先生方は、「津波があと1メートル高ければ助からなかったのではないかと」「屋上への避難という判断は本当に正しかったのか」と、今もなお自問し続けています。

中浜小学校では、こうした教職員の思いや背景、また災害がそれぞれに異なり多様であることから、状況に応じた判断が求められることが来場者に伝えられるよう、展示や映像資料に加え、各種資料の提供などを通じて、学びの場を総合的に整えています。

施設の特徴



問いをなげかける展示

展示には考えを促す問いかけが随所にあります。当時の状況や避難した児童や教職員の心情を想像することで、災害を自分事として捉えられる構成となっています。



教材として活用できる資料の提供

見学をより深い学びにするために、事前・事後学習の授業で活用できる教材（ガイドブック・ワークブック）を用意しています。（詳細は「9.学習教材・資料」に掲載）

事前学習でのオンライン講話

オンライン会議ツールで講師（やまもと語りべの会会員）と学校をつなぎ、45分程度のカリキュラムで実施します。スライドを見ながら、東日本大震災発生前後の中浜小学校の対応などを予備知識として得ることができます。事前に知ること現地見学の際に、より「自分のこと」として考えることができます。

※オンライン接続や内容については、事前に講師と打合せすることが可能です。お気軽にお申込みください。（詳細は「8.オンライン事前学習」に掲載）



充実した町内オプションツアー

町内で行う4つのオプションツアーを用意しており、学びの目的に応じて選ぶことができます。（詳細は「10.オプションツアー」に掲載）

2. 見学

- ・自由見学が可能です。ただし、自由見学であっても予約が必要な場合があります。
※予約についての詳細は「3. 施設情報①」をご参照ください。
- ・施設内には、スポットに定点ガイドが常駐しているため、予約不要で説明を聞くことができます。館内を通して案内する語り部ガイドを希望する場合は予約が必要です。
- ・語り部ガイドによる案内をご希望の場合は、個人・団体を問わず事前の申込みが必要です。原則として、見学予定日の20日前までに「見学予約申込書」に必要事項を記入のうえ、メールまたはFAXにて中浜小学校までお申込みください。

語り部ガイドによる案内例（90分）

- ・1班(引率者を含めて最大20名)が順に以下のコースを見学します。混雑状況によっては、見学場所の順番が前後することがあります。
- ・一度に見学できるのは最大6班(最大120名)までです。各見学場所を6班が交代で見学します。
- ・見学人数に応じた見学時間の確保をお願いしています。バス乗降時間やトイレ休憩時間は含みません。詳しくは、中浜小学校のWebサイト「ご利用までの流れ」「見学予約申込書」をご確認ください。

<https://www.town.yamamoto.miyagi.jp/site/ruins-nakahama/flow.html>




3. 施設情報①

開館時間	9:30～16:30
定休日	毎週月曜日 年末年始(12月28日～1月4日)
特別開館日	3月11日(山元町鎮魂の日) 9月1日(防災の日) 11月5日(世界津波の日) ※特別開館日は月曜日でも開館します ※特別開館日は入館料が無料になります(見学予約、および語り部ガイド予約は受付不可)
所要時間	自由見学:30分～60分 団体見学:90分
予約	施設は予約なしで見学できますが、次の場合は予約が必要となります ・小中学校、高校などにおける防災学習や修学旅行の場合 ・20名以上の団体の場合 ・個人、団体問わず、語り部ガイドによる案内をご希望される場合 予約方法はこちらから https://www.town.yamamoto.miyagi.jp/site/ruins-nakahama/flow.html ※予約状況により、語り部ガイドによる案内に対応できない場合があります ※中浜小学校からの連絡をもって予約が成立します。電話による受付はできません。 ※特別開館日(3月11日 山元町鎮魂の日、9月1日 防災の日、11月5日 世界津波の日)の予約はできません。
見学人数	引率を含めて120名程度まで ※語り部ガイドによる案内は、1班20名程度に語り部ガイドが1名ついて行きます ※同時に案内ができるのは6班までです ※120名以上は応相談です。オプションツアーとの組みあわせにより、対応が可能な場合があります。
料金	【入館料】 [個人] 一般:400円・高校生:300円・小中学生:200円 [団体] 一般:300円・高校生:200円・小中学生:100円 ※団体は20名以上 【語り部ガイド】 ガイド料:語り部ガイド1名につき5,000円(税込)
支払い方法	当日現金払い・事前納付(納入通知書)

4. 施設情報②

トイレ	管理棟(男性用・女性用・バリアフリートイレ) ※開館している時間帯のみ利用可能 ※震災遺構の校舎内にはトイレがありません。また、トイレの個数が少ないことから、事前に済ませてからご来館いただきますようお願いしています。				
バリアフリー	<ul style="list-style-type: none"> ・入口にスロープあり ・障がい者等優先駐車場あり ・バリアフリートイレにオストメイト対応設備あり ※校舎1階は車椅子での見学はできませんが、エレベーターがないため、2階と屋根裏倉庫を見学することができません。2階で上映されている映像「震災遺構 中浜小学校」は管理棟にあるタブレットで見ることができます。	買物施設	管理棟内に関連商品の販売あり	食事施設	なし
その他	管理棟内にAEDの設置あり				

5. アクセス

所在地	〒989-2111 宮城県亶理郡山元町字久根22-2 Googleマップ: https://maps.app.goo.gl/HEAZizhHpkA5xer39		
駐車場	普通車40台、障がい者等優先1台、大型バス3台		
アクセス	車	常磐自動車道 山元ICより約12分 常磐自動車道 山元南スマートICより約10分	
	その他	<p><u>電車利用の場合</u> JR常磐線坂元駅より徒歩で約25分</p> <p><u>タクシー利用の場合</u> JR常磐線坂元駅より約5分</p> <p><u>レンタサイクル利用の場合</u> 山元町農水産物直売所「やまもと夢いちごの郷」より、レンタサイクル「いちGO!」を利用して約15分 ※坂元駅より「やまもと夢いちごの郷」までは徒歩で約2分 ※「いちGO!」の利用方法はこちら https://www.town.yamamoto.miyagi.jp/site/kankou/24622.html 事前予約がなくても利用できますが、台数が限られているため、事前予約をおすすめしています 電話:0223-38-1888(山元町農水産物直売所「やまもと夢いちごの郷」)</p>	
各地からの所要時間	<ul style="list-style-type: none"> ・仙台駅から車で約55分 ・仙台空港から車で約32分 ・松島から三陸自動車道～仙台東部道路～常磐自動車道を経由して車で約55分 		



6. 災害時の対応

周辺の避難場所	見学中に避難を要す場合は、職員が避難誘導します
---------	-------------------------

7. その他

外国語対応	<ul style="list-style-type: none"> ・英語のガイドブックあり ・展示に英語併記あり ※解説文の一部には英語を併記していないものもあります ・映像に英語字幕あり ・職員が翻訳機を使用し、案内することが可能
周辺施設	<p>山元町農水産物直売所「やまもと夢いちごの郷」：車で約5分</p> <p>大條家茶室 此君亭(しくんてい)：車で約7分</p> <p>casano-va 笠の場：車で約8分</p> <p>山元町防災拠点・山下地域交流センター「つばめの杜ひだまりホール」：車で約8分</p> <p>山元町深山山麓少年の森：車で約13分</p>

8. オンライン事前学習

事前学習	<p>見学前の事前学習として、学校と講師をオンライン会議ツールでつなぎ、授業1校時分(45分程度)の講義を行うことができます。東日本大震災発生前後における中浜小学校の対応などについて事前に知ることで、現地訪問時の意識や姿勢を整え、見学の際に、より“自分ごと”として捉えることができます。</p> <p>※お申込み後、日程調整と事前の接続テストのご案内があります。また、オンライン会議ツールは、Zoom、または Google Meetを使用します。</p> <p>料金：無料</p> <p>申込み：見学予約申込書に記載し、現地見学の1か月前までに申込み</p> <p>実施時期：現地見学日の1週間前を目安に実施 ※予約状況によりご希望に沿いかねる場合があります</p>
------	---

9. 学習教材・資料

【ガイドブック】

館内の説明板や掲示物の内容がすべて盛り込まれたガイドブックです。
見学後のふり振り返り学習の指導や、防災学習の教材として活用ができます。

料金：1冊200円(税込)

販売場所：中浜小学校 管理棟

内容：施設案内(館内平面図)、見学ポイント、中浜小学校の歩みと山元町の災害
東日本大震災と中浜小学校の72時間、災害への備えのチェック

※見学ポイントのページには「問いかけ」が記載されており、見学後のふり
振り返り学習などで、答えを探したり、考えたりする際の手立てにすることが
できます。(A5判フルカラー40ページ)



教材・資料

【ワークブック】 ※令和8年度から販売開始

東日本大震災時に中浜小学校で起きたことを基に、文部科学省「学校防災のための参考資料」に留意し、防災に役立つ
様々な視点から作られたワークブックです。事前学習・現地学習・事後学習の各段階に対応した内容で構成されており、
空欄に解答を記入する形式の問題集とは異なります。災害時に活用できる知恵や感覚、情報の伝え方や居場所の伝達方
法などを題材とし、「生きる力」を育む学習として、体験的な授業などへの展開が可能です。

※災害は個別で多様であり、防災にただ1つの正解があるものではないことから、中浜小学校の展示の基本姿勢“答え
を示すのではなく問いを投げかける”に基づいて、こちらのワークブックも明確な答えを用意していません。

種類：2種類 [Vol.1：小学生向け、Vol.2：中学生向け]

料金：1冊各100円(税込)

販売場所：中浜小学校 管理棟、通信販売

<https://www.town.yamamoto.miyagi.jp/site/ruins-nakahama/flow.html>

10. オプションツアー

お申込み先：中浜小学校 お支払い：当日、中浜小学校管理棟にて現金でお支払い(やまもと語りべの会で受領)

見学①

【町内復興見学】60分～90分

参加者が乗車されてきたバスなどに「やまもと語りべの会」の語り部ガイドが同乗して、
町内を案内します。旧JR山下駅跡地に整備された慰霊碑、コンパクトシティ構想に基づいて
整備された新市街地、震災後に整備されたにぎわいの拠点、農水産物直売所「やまも
と夢いちごの郷」への立ち寄りもできます。見学ルートはご希望、ご相談に応じます。

料金：バス1台につき7,000円(税込) ※語り部がバスなどに同乗します



見学②

【防災施設見学】45分～60分

内陸に移設したJR常磐線 新山下駅前建てられた、防災交流センター(つばめの杜ひだ
まりホール)の見学を行います。震災の教訓をもとに備えられた、備蓄倉庫、災害トイレ、
耐震性貯水槽、かまどベンチなどの設備を見学、災害時の避難や支援活動の拠点として
使うことを想定した施設の機能について学ぶことができます。

料金：無料 実施可能日：平日9時～16時 ※語り部の同行はなし



体験①

【体内時計訓練】30分～45分

磯崎山公園にて、事前に予測した避難時間と実際に登頂した時間の差から、体内時計のズ
レを体感します。磯崎山は山元町の南端にあり太平洋に面する丘陵で、伊達政宗公が初め
て海を見た場所と伝えられ、江戸時代には仙台藩が外国船を監視するための御番所が設
けられました。(警報発令時や荒天時は実施不可)

料金：バス1台につき3,000円(税込) ※語り部がバス等に同乗して公園まで移動します



体験②

【徒歩避難訓練】40分～60分

震災遺構 中浜小学校を出発し、津波避難を想定して、内陸約1.2キロ先の旧坂元中学校まで徒歩で移動します。交通ルール
の遵守や分岐点での避難方向の判断、経路上の危険の予測など、東日本大震災の教訓を踏まえ、避難時の注意点を確認しながら進
みます。(警報発令時や荒天時は実施不可)

料金：バス1台につき3,000円(税込) ※語り部が同行。帰路用にバス等を回送する必要があります。

11. お問い合わせ先

山元町震災遺構 中浜小学校

TEL:0223-23-1171

FAX:0223-23-1172

E-mail: nakahamaguide@gmail.com(●を@に変更してください)

サイト:<https://www.town.yamamoto.miyagi.jp/site/ruins-nakahama/index.html>



<山元町震災遺構 中浜小学校周辺 略図>



オプションツアー 見学①

【町内復興見学】

参加者が乗車されてきたバスなどに「やまもと語りべの会」の語り部ガイドが同乗して、町内を案内します。見学ルートはご希望、ご相談に応じます。

オプションツアー 見学②

【防災施設見学】

内陸に移設されたJR常磐線・新山下駅周辺は、町の行政および防災の拠点として整備されたエリアです。駅前に建てられた防災交流センター(つばめの杜ひだまりホール)の見学では、施設の機能と山元町の復興までの歩みを学べます。

●震災遺構 中浜小学校より防災交流センターまで車で約10分

オプションツアー 体験①

【体内時計訓練】

磯崎山の麓から、標高13メートルの頂上付近にある公園の東屋を目指して登ります。登る前に避難時間を予測し、実際に登ってみてその差を体感します。

東屋(休憩所)からは、北に牡鹿半島、南に福島県の鷲ノ尾崎まで広がる太平洋の大パノラマが一望でき、整備された防潮堤など地域の復興の様子もあわせて見ることができます。

●震災遺構 中浜小学校より磯崎山公園まで車で約5分

<徒歩避難訓練のルート>



オプションツアー 体験②

【徒歩避難訓練】

安全な避難行動について「気づき、考える力」を養うことを目的に、津波発生時を想定して内陸の旧坂元中学校まで徒歩で避難します。

この避難経路は、震災当時に中浜小学校で検討されていた内陸避難ルートと避難先として位置づけられていたものです。